

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能 基礎的な内容のさらなる定着が必要であり、現象の原因を科学的視点からの理解が浅いため、知識を応用させることが苦手な生徒が多い。また、全体的に学習した内容を既習事項と結び付けて考える能力が低い。</p> <p>2 思考・判断・表現 毎回の実験後に提出させている実験プリントの考察欄より、思考し表現することが苦手な生徒が多いことが見て取れる。また、1年生時に感染症対策のため十分な実験活動ができておらず、全体的に科学的な事象を思考する能力、表現する能力があまり身に付いていない。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 自然事象について積極的に学ぼうという姿勢をもった生徒が多い。一方で、理科の授業内容に対する関心の低い生徒も少なからずいるというのが現状である。</p>	<p>1 知識・技能 小單元ごとに計画的に問題演習を実施し、基礎学力の定着が疎かにならないようにする。 また、授業の導入では必ず前時の復習を行い、本時の内容との結び付きを考えさせてから授業に入る。</p> <p>2 思考・判断・表現 <u>少しでも多くの実験活動を行い、そのたびに考察を書かせることで、科学的な事象について表現する機会を確保する。</u>また、個人で考察を考えたのちに、<u>周囲の生徒と対話することで、個人の考えを深める活動を取り入れ、思考力の向上につなげる。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 一単位時間の「ねらい」を明確にして授業を行う。また、授業において多くの生徒に発言をさせ、発言内容を認めることで、さらに意欲的に授業へ参加させるように促す。</p>